

AFCグループはおかげさまで
創立50周年を迎えました



決算説明資料

- 2021年3月期第2四半期 -

2020年11月

目 次

※ 「冒頭解説」 新型コロナウイルス感染症による当社業績への影響

- I. 2021年3月期第2四半期 連結決算概要 . . . P3
- II. 2021年3月期 連結業績予想 . . . P13
- III. トピックス（ESG関連情報・海外事業展開） . . . P21
- IV. IRの強化～ホームページのリニューアル～ . . . P28

新型コロナウイルス感染症による当社業績への影響

＜2021年3月期第2四半期＞

- 新型コロナウイルスの感染拡大が続いているが、当社の第2四半期の業績は概ねコロナの影響をふまえて立てた期初の予想通り
- 中間配当金は期初予想から変更なし

【コロナに伴う業績への主な影響（セグメント毎）】

- 不動産事業
賃料債権の一部免除による特別損失の計上
- 熱供給事業
熱料金債権の一部免除による特別損失の計上
- 給排水運営事業
空港利用者の減少による給排水利用量の大幅な減少

＜感染防止のための取り組み＞

社内対策

- ① 密を避けるため、リモート技術を活用したテレワークやWEB会議の実施
- ② 勤務時のディスタンスを確保するため、オフィスを拡張
- ③ 通勤混雑を避けるため、フレックスタイム制を導入
- ④ 社員の検温実施及び事務所各所への消毒液の配置

顧客対策

- ① 共用部の定期的な清掃に加え、追加的な消毒措置の実施
- ② 各ビル受付へのスチールパネル等の設置及び消毒液の設置
- ③ テナントの皆様と感染対策や感染者発生時の流れについて定期的に確認



空港施設株式会社

AIRPORT FACILITIES CO., LTD.

I. 2021年3月期第2四半期 連結決算概要

II. 2021年3月期 連結業績予想

III. トピックス(ESG関連情報・海外事業展開)

IV. IRの強化

I. 2021年3月期第2四半期 連結決算概要

～連結PL～

- ◇ コロナの影響を受けたものの、概ね業績は予想通り推移
- ◇ 安定的な固定収入を背景に利益を確保

単位：百万円

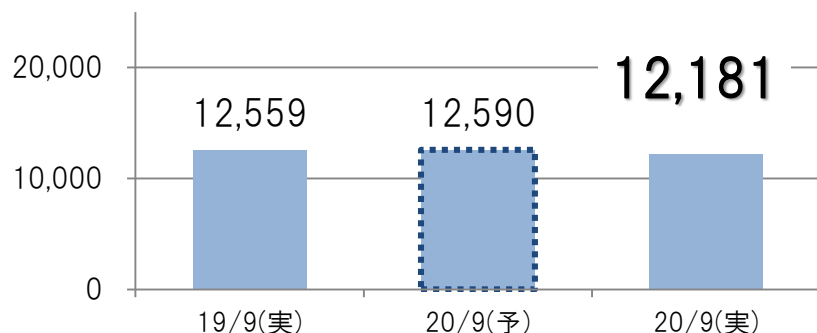
売上高

【対前年同期比】

△378百万円 (△3.0%)

【対予想比】

△409百万円 (△3.2%)



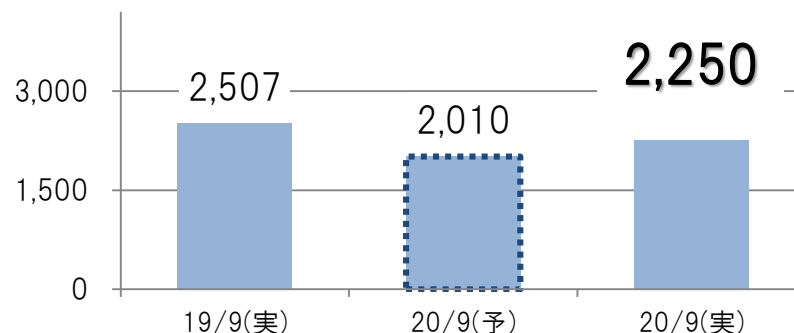
営業利益

【対前年同期比】

△257百万円 (△10.2%)

【対予想比】

+240百万円 (+11.9%)



経常利益

【対前年同期比】

△276百万円 (△11.3%)

【対予想比】

+303百万円 (+16.3%)



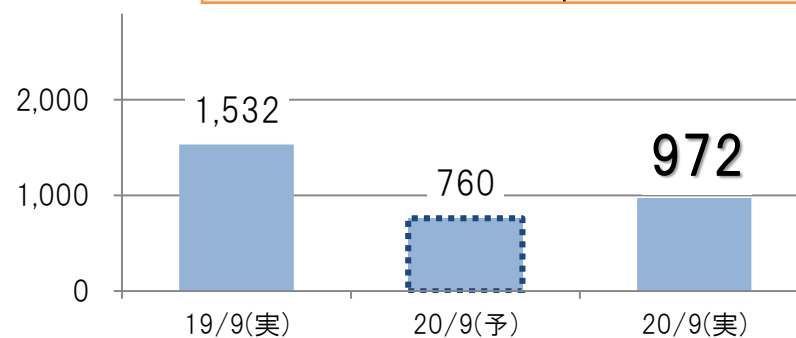
当期純利益

【対前年同期比】

△560百万円 (△36.5%)

【対予想比】

+212百万円 (+27.8%)



※親会社株主に帰属する四半期純利益

I . 2021年3月期第2四半期 連結決算概要

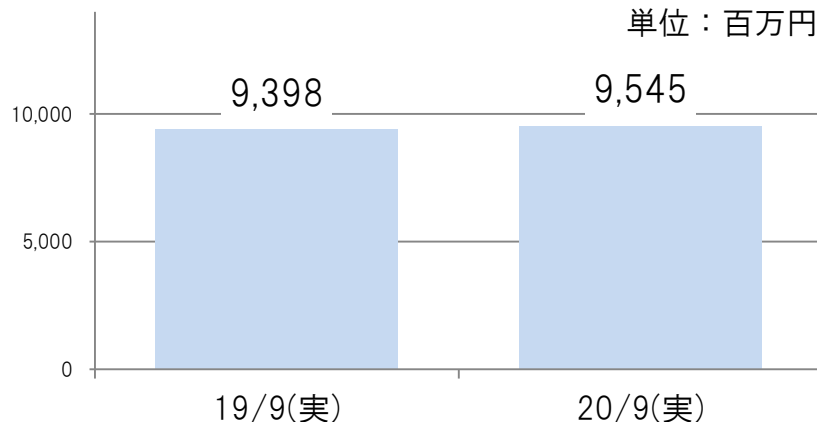
～不動産賃貸事業～

- ◇ 昨年稼働した物件による売上の増加
- ◇ 省エネルギー設備への更新による費用の増加

売上

対前年同期比
+147百万円 (+1.5%)

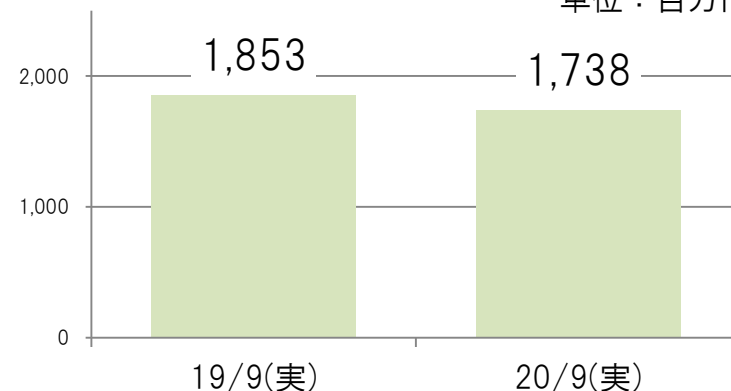
単位：百万円



利益

対前年同期比
△115百万円 (△6.1%)

単位：百万円



《主な増減要因》

【売上高】

- ・ 昨年取得した物件の稼働

【営業利益】

- ・ 省エネ化推進等費用の増加

I . 2021年3月期第2四半期 連結決算概要

～不動産賃貸事業～

◇ 今年度の業績に寄与している羽田空港内物件

テクニカルセンター倉庫棟



用 途	機用品倉庫、事務所
賃貸開始	2019年12月
延床面積	約1,823㎡
提 供 先	日本航空株式会社

アークビル機内食工場
増改築工事



用 途	航空機機内食工場
賃貸開始	2020年1月
延床面積	(増築棟) 1,797㎡
提 供 先	株式会社ティエフケー

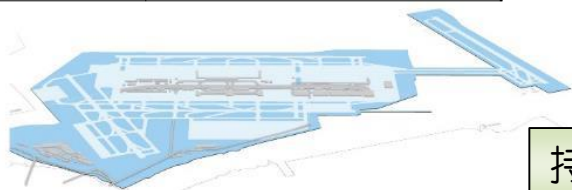
東京国際空港航空機污水处理施設
【SDプラント※】



施 設 名	航空機污水处理施設 【SDプラント】
竣 工	2020年3月
処 理 能 力	最大95 t / 日
利 用 者	各航空会社等

※SD：Sanitary Disposalの略

持続的に伸び行く羽田空港への投資を通じて、成長を図ります



I . 2021年3月期第2四半期 連結決算概要

～不動産賃貸事業～

◇ 今年度の業績に寄与している地方空港・海外物件

奈多ヘリポート格納庫



用 途	回転翼機格納施設、事務所
供用開始	2020年3月
延床面積	約2,021㎡
提 供 先	オールニッポンヘリコプター(株)・西日本空輸(株)

神戸空港格納庫 増築工事



用 途	小型機用格納庫
賃貸開始	2020年1月
延床面積	(増築棟) 2,335㎡
提 供 先	エアバス・ヘリコプターズ・ジャパン株式会社

フライトシミュレーター (ファイナンスの実施)



融資案件	フライトシミュレーター
融資日	2019年12月
基 数	通算5基
提供先	エアバスアジアトレーニングセンター社
設置場所	シンガポールセレーター空港内



ヘリコプターや訓練用シミュレーター等、様々な分野や地域へ投資を実施

I . 2021年3月期第2四半期 連結決算概要

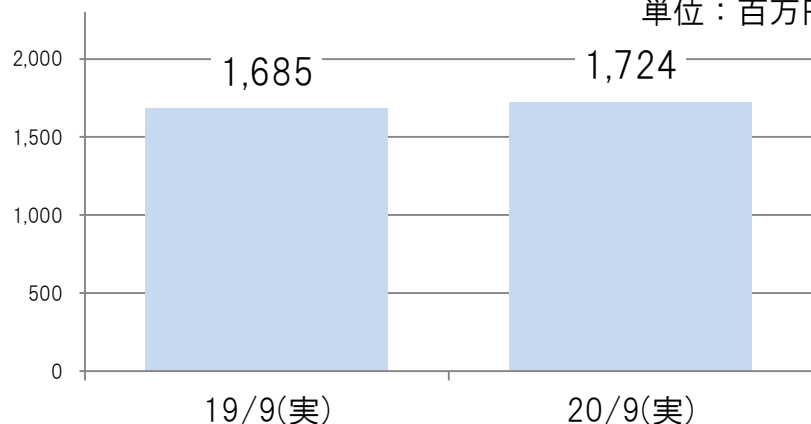
～熱供給事業～

◇ コロナウイルスの影響により需要が減少したものの、新しい建物への供給開始やコストの削減により営業利益は昨年比21.1%増

売上

対前年同期比
+39百万円 (+2.3%)

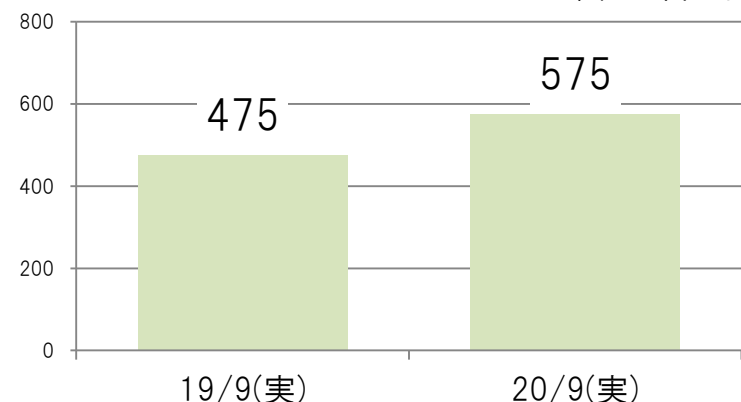
単位：百万円



利益

対前年同期比
+100百万円 (+21.1%)

単位：百万円



《主な増減要因》

【売上高】

- ・ コロナウイルスの影響による需要減
- ・ 羽田の第2ターミナルビル増築による需要増

【営業利益】

- ・ 電気ガスの燃料費や修繕費の低減

I . 2021年3月期第2四半期 連結決算概要

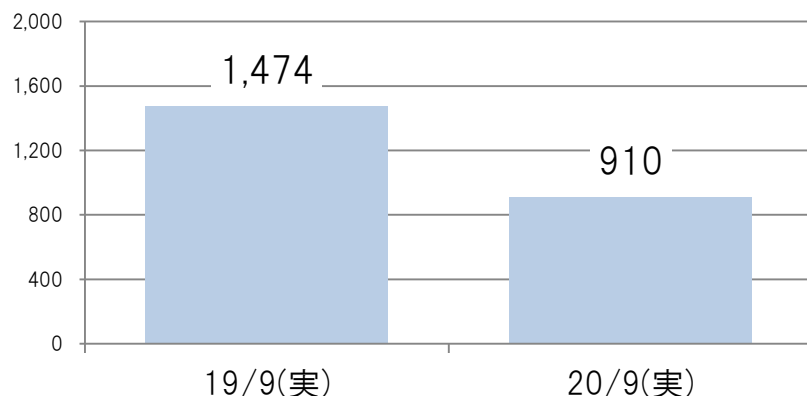
～給排水運営その他事業～

◇ コロナウイルスの影響により空港内の上下水道需要が大幅に減少

売上

対前年同期比
△ 564百万円 (△38.2%)

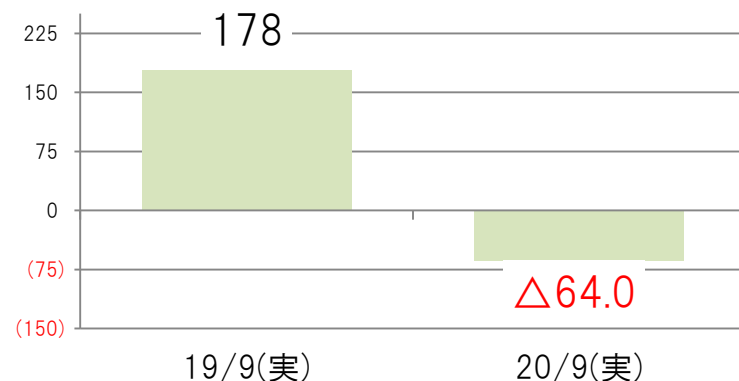
単位：百万円



損益

対前年同期比
△ 242百万円

単位：百万円



《主な増減要因》

【売上高】

・ コロナウイルスの影響により上下水道の需要大幅減

【営業損益】

・ 上下水道利用減のため減少

※その他事業：共用通信事業・太陽光発電事業を実施

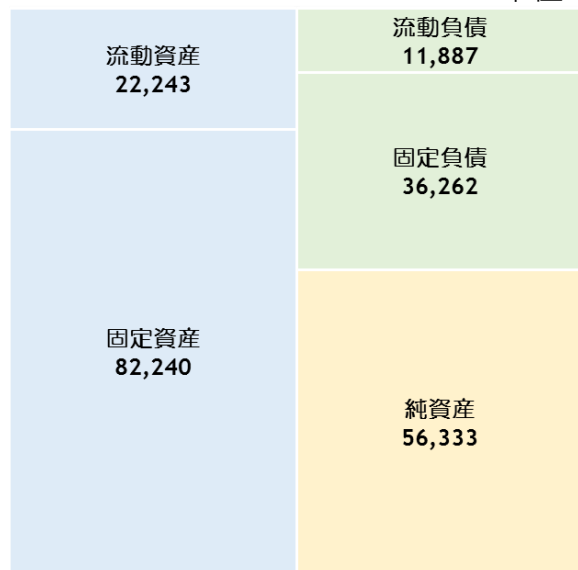
I . 2021年3月期第2四半期 連結決算概要

～財務状況～

【連結貸借対照表】

2020年3月末

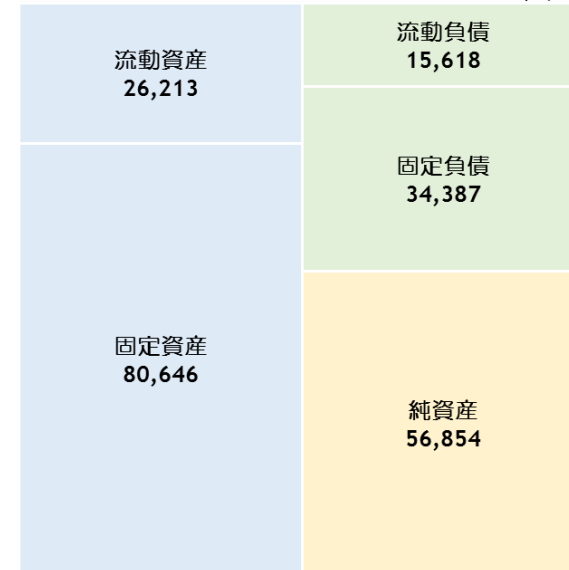
単位：百万円



資産合計
2,376百万円増

2020年9月末

単位：百万円



総資産額	1,044億円
1株当たり純資産	1,080円
自己資本比率	51.5%

総資産額	1,068億円
1株当たり純資産	1,088円
自己資本比率	50.8%

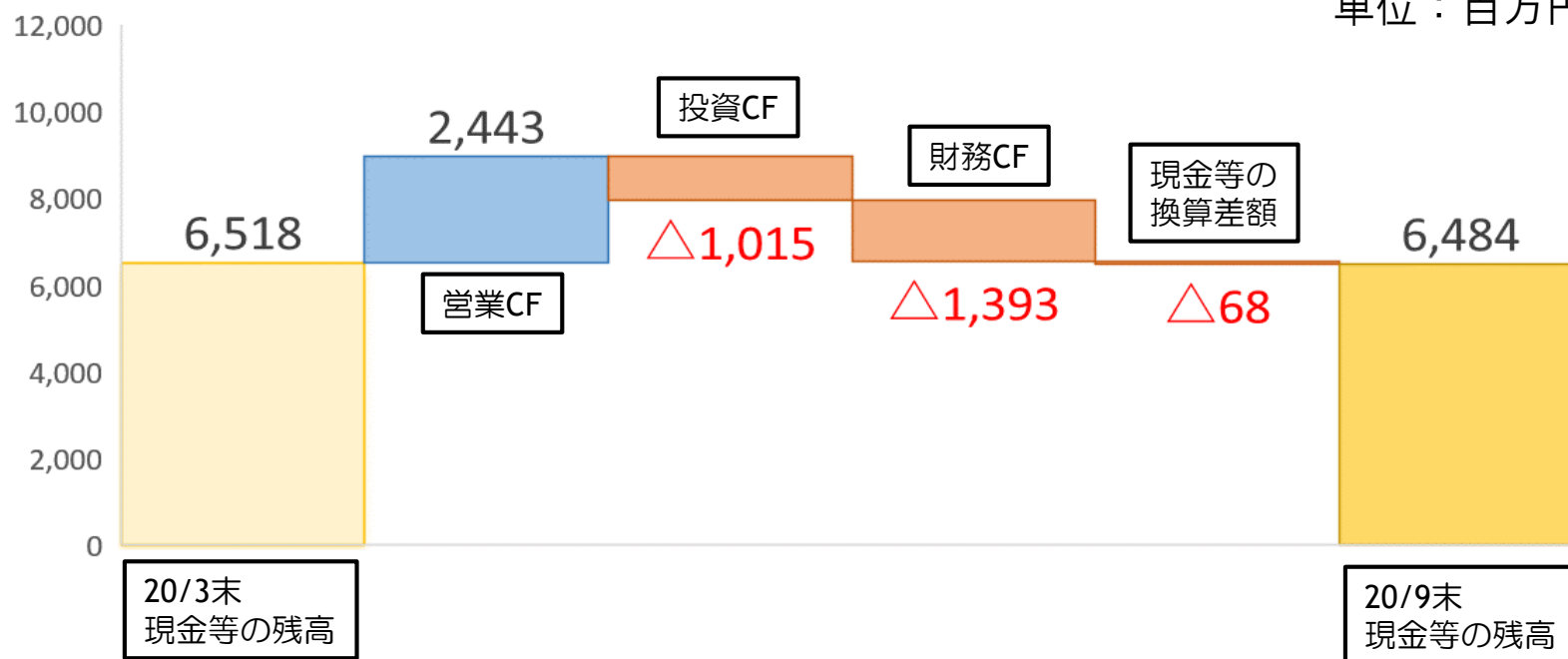
(資産) 関東学院大学学生寮新築工事に伴う前渡金、国有財産年間使用料の前払費用計上等による増加
 (負債) 国有財産年間使用料の未払費用計上等による増加
 (純資産) 利益剰余金の増加等により増加

I . 2021年3月期第2四半期 連結決算概要

～財務状況～

【連結キャッシュ・フロー】

単位：百万円



営業活動によるキャッシュ・フロー	税金等調整前四半期純利益に減価償却費等の非資金項目、営業活動に係る債権、債務及び法人税等の加減算を行ったことによる収入
投資活動によるキャッシュ・フロー	主に固定資産の取得による支出
財務活動によるキャッシュ・フロー	主に長期借入金の返済に伴う支出

中間配当について

1株あたり中間配当金
7円

当社の方針である「原則配当性向30%以上」及び「安定的かつ持続的な株主還元」を実現するために、中間配当金は7円とさせて頂きました。



空港施設株式会社

AIRPORT FACILITIES CO., LTD.

I. 2021年3月期第2四半期 連結決算概要

II. 2021年3月期 連結業績予想

III. トピックス(ESG関連情報・海外事業展開)

IV. IRの強化

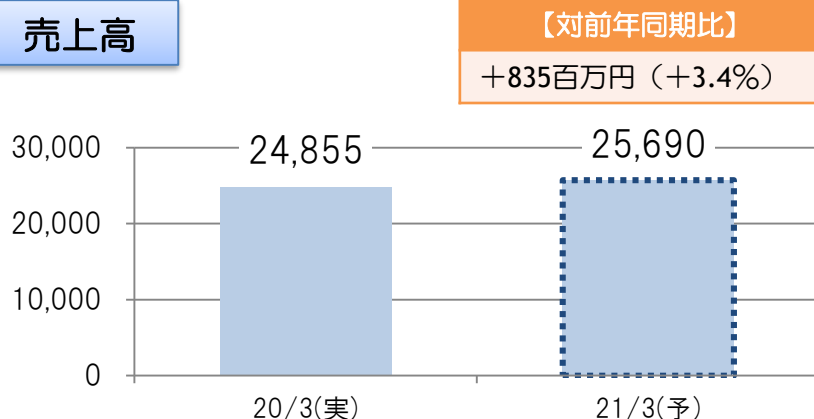
Ⅱ. 2021年3月期 連結業績予想

～連結PL～

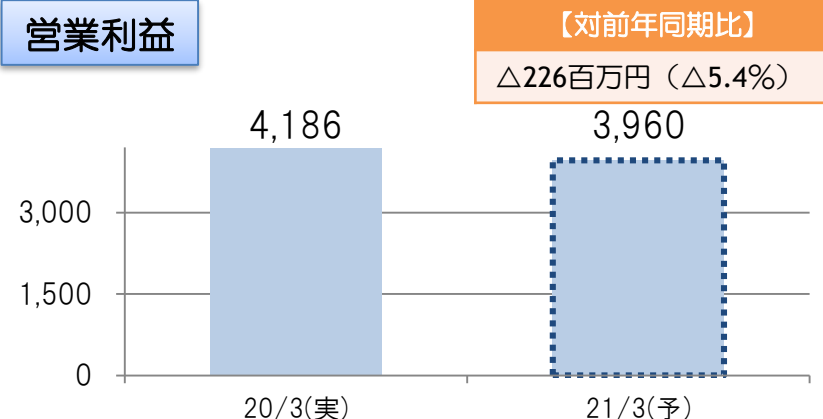
- ◇ 通期の予想について変更無し
- ◇ 特別損失(債権放棄損)を計上したものの純利益の確保を予定

単位：百万円

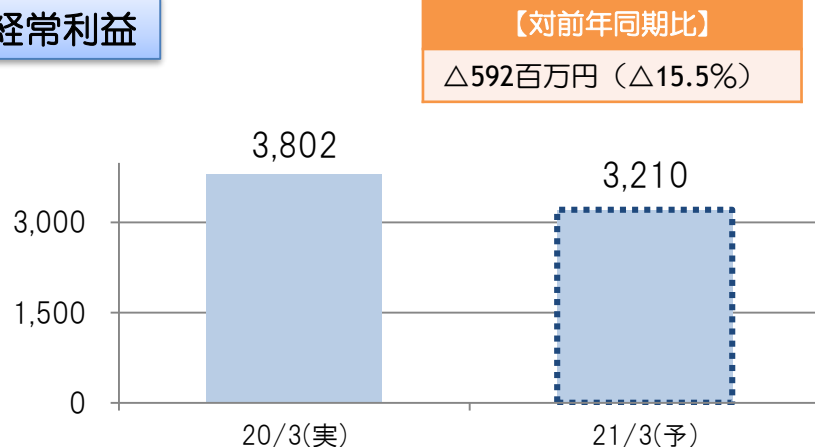
売上高



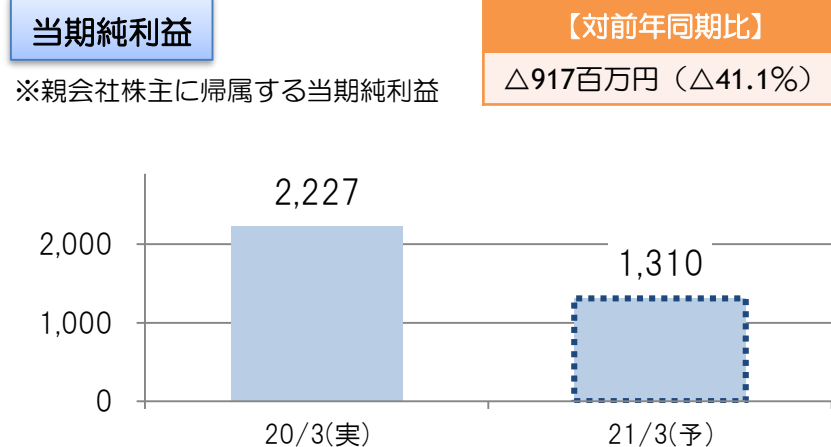
営業利益



経常利益



当期純利益



Ⅱ. 2021年3月期 連結業績予想

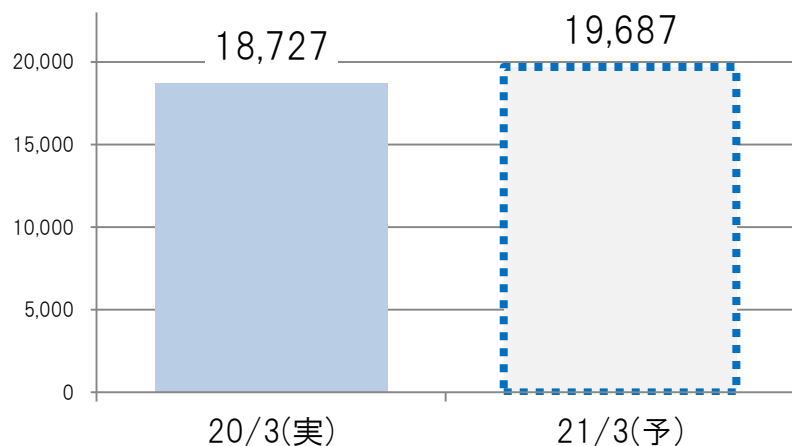
～不動産賃貸事業～

- ◇ 昨年竣工した物件の通年稼働や、今年度稼働する物件により売上が増加
- ◇ 物件の取得に伴う費用の発生により営業利益は昨年比で減少の予定

売上

対前年同期比
+960百万円 (+5.1%)

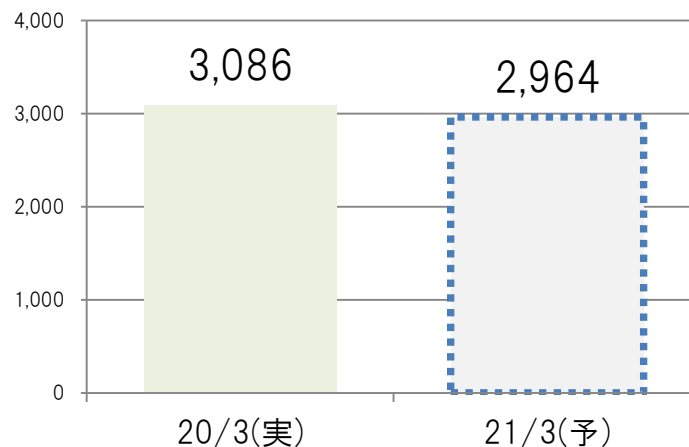
単位：百万円



利益

対前年同期比
△122百万円 (△3.9%)

単位：百万円



《主な増減要因》

【売上高】

- ・ アークビル機内食工場及び機用品倉庫
神戸格納庫増築棟等の通年稼働
- ・ HI Cityの稼働開始に伴う駐車場事業等の開始

【営業利益】

- ・ 新規施設の取得に伴う償却費の増加や新規
施設取得に伴う公租公課の発生により減少

Ⅱ. 2021年3月期 連結業績予想



～不動産賃貸事業～

- ◇ 『HANEDA INNOVATION CITY(略称：HICity)』 が9月から本格稼働
- ◇ 当社は駐車場事業及びサブリース事業を開始

HICity概要



外観

事業主体	羽田みらい開発株式会社(注)
延床面積	約125,400㎡
交通	京浜急行電鉄空港線・東京モノレール「天空橋駅」直結

「先端」と「文化」の2つをコアとした大型複合施設として本年9月より本格稼働いたしました。

駐車場事業



駐車台数	190台
特徴	<ul style="list-style-type: none">・ 車載ナンバー管理システム及びカメラ式ゲートによるチケットレスサービスを導入・ 急速充電器スタンド（EV用）を6基設置・ ハイブリッド型街路灯の設置

チケットレスサービスの導入により入出庫時の渋滞緩和を図ります

(注)「羽田みらい開発株式会社」出資企業(50音順)： 鹿島建設(株) (代表企業)、空港施設(株)、京浜急行電鉄(株)、大和ハウス工業(株)、東京モノレール(株)、日本空港ビルデング(株)、野村不動産パートナーズ(株)、東日本旅客鉄道(株)、富士フィルム(株)

Ⅱ. 2021年3月期 連結業績予想

～不動産賃貸事業～

◇ 関東学院大学 国際学生寮を建設中、2021年3月に竣工予定

用 途	学生寮（3階～6階） 商業テナントスペース（1階～2階） ※ドラッグストアやクリニック等が入居予定
施工期間	2019年7月～2021年3月（予定）
面 積	建築面積）2,298㎡ 延床面積）9,582㎡
提供先	学校法人 関東学院



外観（イメージ図）



施工中外観（11月現在）



内観（イメージ図）



内観（断面図）

Ⅱ. 2021年3月期 連結業績予想

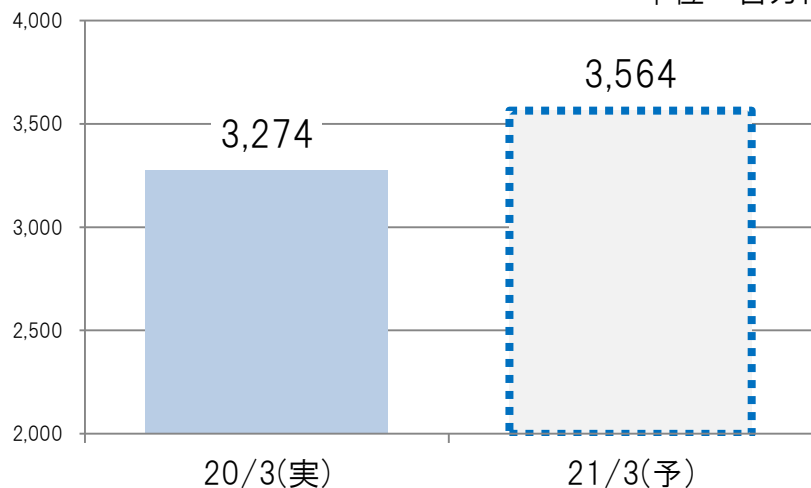
～熱供給事業～

◇ コロナの影響による需要減の影響はあったものの、新規供給先の増加に伴う需要増により増収増益を予定

売上

対前年同期比
+290百万円 (+8.8%)

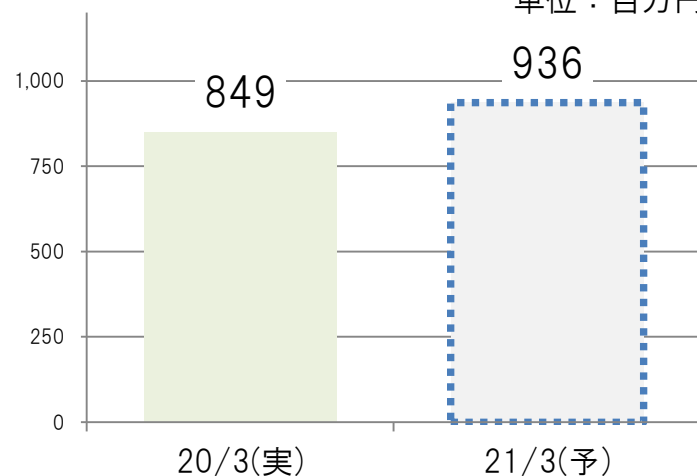
単位：百万円



利益

対前年同期比
+87百万円 (+10.2%)

単位：百万円



《主な増減要因》

【売上高】

・ 羽田空港第2ターミナルビル増築による需要増

【営業利益】

・ 売上増の効果を見込み増加

Ⅱ. 2021年3月期 連結業績予想

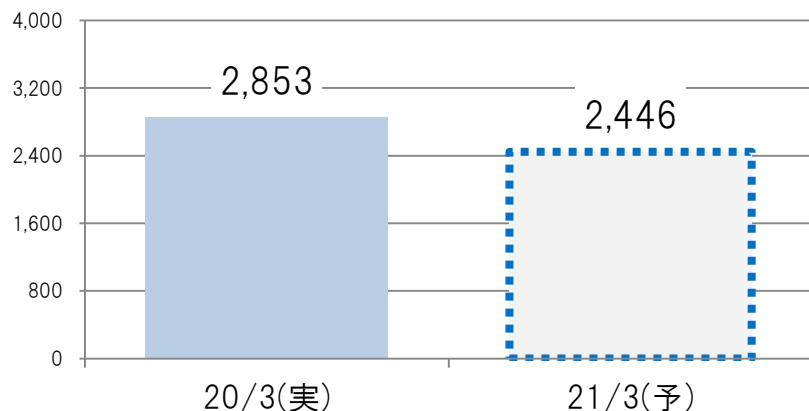
～給排水運営その他事業～

◇ コロナの影響による空港利用者の大幅な減少により、上下水道の大幅な減少を見込み売上利益の減少を予定

売上

対前年同期比
△407百万円 (△14.2%)

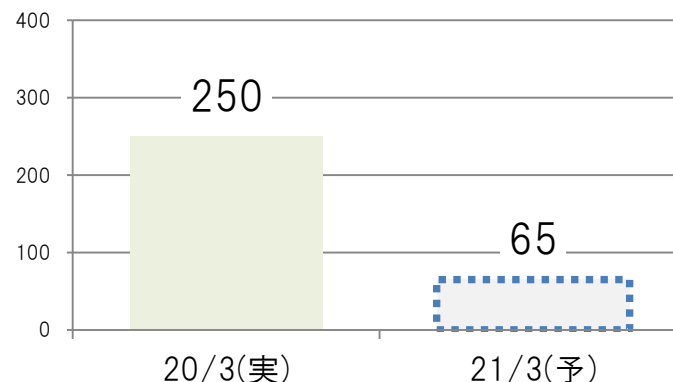
単位：百万円



利益

対前年同期比
△185百万円 (△74.0%)

単位：百万円



《主な増減要因》

【売上高】

- ・羽田空港及び新千歳空港における水の大幅な利用減少

【営業利益】

- ・上下水道利用減のため減少

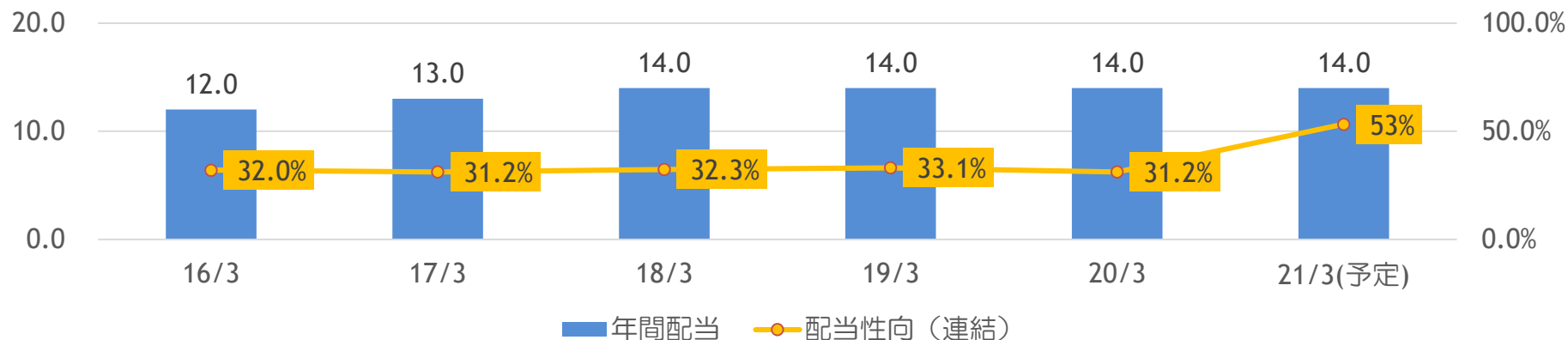
※その他事業：共用通信事業・太陽光発電事業を実施

年間配当について

1株あたり年間配当

14円（予定）
（配当性向53%）

年間配当推移





空港施設株式会社

AIRPORT FACILITIES CO., LTD.

I. 2021年3月期第2四半期 連結決算概要

II. 2021年3月期 連結業績予想

III. トピックス(ESG関連情報・海外事業展開)

IV. IRの強化

Ⅲ. トピックス（ESG関連情報・海外事業展開）

環境への取り組み

羽田空港にメガワット級の太陽光発電施設を設置

【羽田空港国内貨物ターミナル地区 航空写真】



施設名称	航空貨物ターミナル施設	
	E-4棟	W-1棟
年間発電量	872千kwh	323千kwh
設置面積	4,672㎡	1,723㎡
稼働予定	2020年12月	
その他	東京都の「地産地消型再生可能エネルギー導入拡大事業」として認定。補助金が交付される予定。	

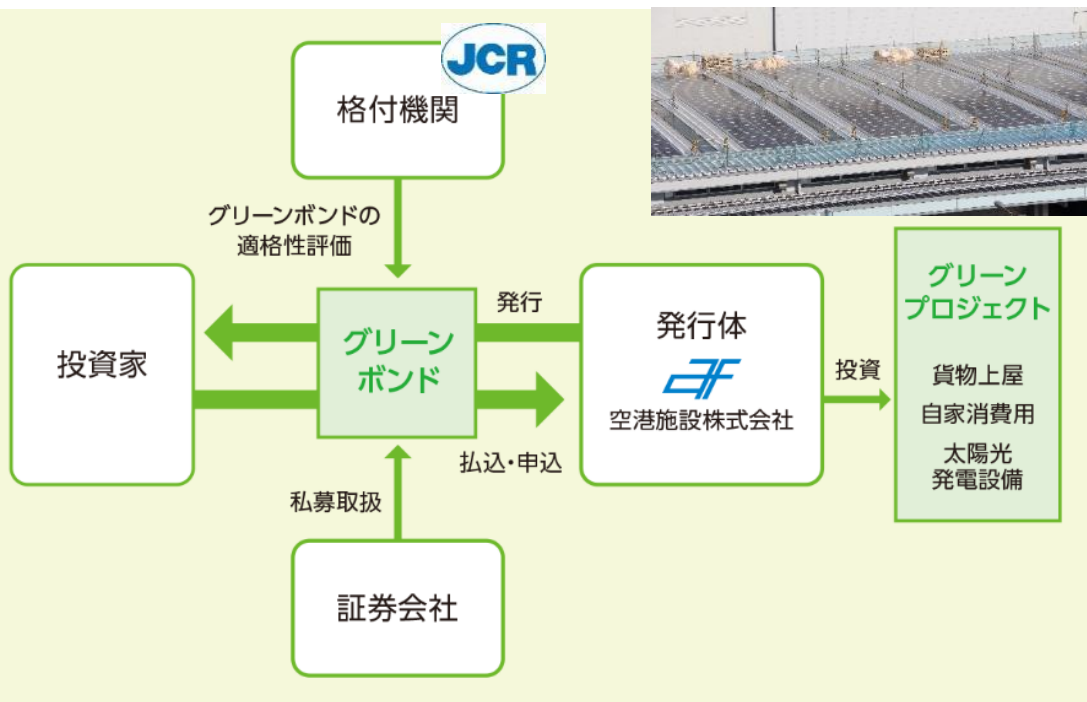
当社の国内貨物ターミナル施設に太陽光パネルを設置。
年間※約270世帯相当分の発電を行い、生産した電気を地区内で自家消費します。



Ⅲ. トピックス（ESG関連情報・海外事業展開）

環境への取り組み

グリーンボンドを活用した資金調達を実施致します



SDGs

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



13 気候変動に
具体的な対策を



名称	空港施設株式会社 第3回無担保社債 (適格機関投資家限定)
金額	100百万円

当社初となるグリーンボンド※(私募債)を発行。グリーンプロジェクトとして手掛ける羽田空港太陽光発電設備の設置資金として利用予定。

※環境改善を目的とする事業（グリーンプロジェクト）に要する資金を調達するために発行する債券。

株式会社日本格付研究所より最高評価のGreen1が付与されました。
新たな資金調達方法の活用を行うことで環境問題の解決に貢献して参ります

Ⅲ. トピックス（ESG関連情報・海外事業展開）

環境への取り組み

当社の太陽光発電への取り組み

SDGs

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



13 気候変動に
具体的な対策を



竣工・稼働日		施設名称	設置場所	年間発電量※1	年間CO2削減量※2	【合計】 約3,130t
2013	10	本三里塚ソーラー発電所	千葉県成田市	約230世帯分	約390t	
2014	3	鹿児島空港 第一・第二格納庫及び倉庫（屋上）	鹿児島空港	約90世帯分	約150t	
2016	1	岐阜瑞浪ソーラー発電所	岐阜県瑞浪市	約430世帯分	約780t	
2018	1	TRC物流ビルB棟屋根ソーラー発電所	大田区平和島	約620世帯分	約1,220t	
2020	12	New 羽田空港国内貨物ターミナル （屋上）	羽田空港	約270世帯分	約590t	

※1 世帯当たり年間電気消費量4,397kwh換算（環境省：家庭部門のCO2排出実態統計調査（家庭CO2統計）のご紹介）参照

※2 CO2削減量=0.489〔CO2/kWh〕換算（東京都環境確保条例による定期報告書に基づく換算係数）



【本三里塚太陽光パ〆 礼】



【鹿児島格納庫 屋上太陽光パ〆 礼】



【TRC物流ビルB棟屋根ソーラー発電所】



【羽田空港貨物ターミナル 太陽光パ〆 礼】

太陽光発電を通じて年間約3,000t相当のCO2排出量相当分電力を発電
エネルギーへの投資を通じてCO2排出量削減に貢献して参ります

Ⅲ. トピックス（ESG関連情報・海外事業展開）

環境への取り組み

貨物上屋施設の照明をLEDに更新することで消費電力を削減



【羽田空港国内貨物ターミナル地区 航空写真】



稼働開始	2020年7月
更新灯数	約2,200台
削減消費電力量 (想定)	2,025千kWh/年
CO2排出削減量 (想定)	※約990t/年

夜間の利用が多い航空貨物上屋において省エネ効果が見込めるLED器具を導入。
多目的ビル等の他物件においても計画的にLED化を進めていく予定。

既存施設において計画的に省エネ化投資を実施して参ります

※CO2削減量＝0.489〔CO2/kWh〕換算（東京都環境確保条例による定期報告書に基づく換算係数）

Ⅲ. トピックス（ESG関連情報・海外事業展開）

社会への取り組み

防火防災への取り組みが評価され東京救急防災協会理事長表彰を受賞

SDGs

11 住み続けられるまちづくりを



蒲田消防署及び蒲田防火管理協会主催の審査会(2019/9)



表彰の様子(2020/10)

東京国際空港周辺地域での多年にわたり防火思想の普及と防災行動力の向上に努めた功績が評価され、乗田副社長が会社を代表して表彰されました。

東京国際空港の周辺において、当社の防火防災への取り組みが評価されました

Ⅲ. トピックス（ESG関連情報・海外事業展開）

海外事業展開

シンガポール海外事業所の設置

2020年4月シンガポールにAFCグループの事務所を設置致しました

開設日	2020年4月1日
交通	20 Anson Road, #11-01 Twenty Anson, Singapore 079912（One&Co内）
立地	※市内中心部にあり、セレター空港へ車で約20分の距離
体制	事務所長・顧問（計2名）



シンガポール現地法人の営業力強化及びAFCグループ全体の海外情報収集を目的として、現地にて事務所を開設いたしました。



空港施設株式会社

AIRPORT FACILITIES CO., LTD.

- I. 2021年3月期第2四半期 連結決算概要
- II. 2021年3月期 連結業績予想
- III. トピックス(ESG関連情報・海外事業展開)
- IV. IRの強化

IV.IRの強化

HPのリニューアル

※11月30日リニューアル予定

改定ポイント

- ① メールの登録制配信サービスを導入
プレスリリースや決算など最新の情報をメールを通じてお知らせ致します
- ② スマートフォン対応によるアクセスの強化
当社情報を出先でもご覧頂けます
- ③ 事業や物件紹介、海外事業等の情報を拡充
より分かり易く、深く理解して頂けるコンテンツを追加しております

【期間限定コンテンツ】
50周年記念動画を配信予定



TOPページ

メール配信サービスを活用し、最新情報を発信させて頂きます。
皆様、是非ご利用ください。

免責事項

ご注意

- 本資料は、投資勧誘の目的のための資料ではありません。
- 将来に関する部分については、現時点で入手可能な情報に基づくものであり、事業環境の変化などによって異なる結果になる可能性があります。
- 投資等に関する重要な決定は、ご利用者のご判断でお願い申し上げます。

本資料は、ホームページでもご覧頂けます。

<http://www.afc.jp/>

お問い合わせ先

空港施設株式会社 IR室

TEL : 03-3747-0953

FAX : 03-3747-0258

E-MAIL : afc_ir@afc.jp